



新任学校長のあいさつ



学校長 清水 一太

今年度から、学校長の重責を担うことになりました。姫路市医師会看護専門学校は、姫路市の行政担当者の方をはじめ、直接学校でお世話になる講師の先生方や実習先でご指導いただく指導者の方など多くの方々の御陰で、開校12年目を迎えることができました。

開校10周年の記念の昨年度には、第105回看護師国家試験で、73名の受験生全員が合格するという金字塔を打ち建てて頂きました。今後これを励みにして、学生・職員一同頑張ってまいりたいと思っております。今年度のスポーツ大会や各種の校内イベントにおいて、学生の皆さんの熱気を見せて頂き、本年度も全員合格をと期待しているところです。

学校卒業後、実際の看護の場においては、最近の医療技術の進歩により、看護師が担う役割も増えています。卒業生の皆様には、ある時は医師やケアマネージャー等と共にチームで提供した医療・看護・介護により回復に向かい、希望に向かって再び歩まれるようになれる患者様に接しては共に喜び、また、ある時は終末期の患者様に対してはご家族と共感をもって看護されていることと思います。

さて、中播磨（姫路）の医療の現状についてであります。中播磨の人口当たりの総病床数や医師数は、全国平均よりやや少なく、一方看護師数は、ほぼ平均を維持しています。しかしながら、2010年から2040年での変化は、医療の総需要が5%増し、0～64歳が29%減少する一方、75歳以上が48%増と有病率が高くなる高齢化が著明になってきます。

それに伴って、今後、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病床に転換する必要も出てきます。医療・福祉の人材の確保や、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内のネットワークの強化などが重要です。そして、2016年現在、あなた方はこういった時代の大きな変化の真ただ中にあることを自覚し、これからのご自分の人生設計を立てて行かなくてはならないのです。

今後、皆さんもこれからの医療について友達と話をされるときに、「地域医療構想」や「地域包括ケアシステム」という言葉を耳にされることがおありでしょう。看護も含め医療や介護などを将来どのようにするかという事を、団塊の世代が75歳になる2025年を見据えて整備していこうという政策です。2年後の2018年度から開始される第7次医療計画のあり方についての検討会がもう始まっています。ご自分も医療人として将来その一翼を担うという気持ちで、会議の成行きなどに興味を持つことも必要なことだと思います。

皆さんが未来を見据え、毎日を充実して過ごされ、看護を通してしっかり人間形成されることを祈っています。

第2回 姫路健康フェスティバルに参加して



平成28年4月24日（日）に第2回姫路健康フェスティバルが姫路市医師会主催で開催されました。フェスティバルには、前回に引き続き、本校2年次がスタッフとして参加しました。着ぐるみの中に入ったり、体験コーナー等で子ども達と触れ合ったり、ブースへの呼び込みを行ったりと大活躍の1日でした。

参加した学生からは、様々な方と交流ができて楽しかった、良い経験ができたとする感想の他に「普段の学校の授業等では気づかなかったことに気づくことができた」、小さな子どもさんの血圧測定を担当した学生からは「今回のボランティアで学んだことを、これからの実習や子どもとの触れ合いに生かしていきたい」といった感想が寄せられました。普段の授業では得られない新たな学びの機会となったようです。

また、フェスティバルには市内の各医療機関から本校の卒業生も多数参加いただきました。当日、フェスティバルの参加者ではありませんでしたが、会場周辺にいらっしゃった方で、胸の痛みを訴えられた方がありました。ドクターカーの医療スタッフとして参加していた本校卒業生の対応もあり事なきを得ました。大きな声で適切に患者さんを不安にさせない対応で、実行委員会の先生方も成長を心から喜んでいらっしゃいました。このように卒業生の活躍している姿を目にすると、頼もしく、誇らしい限りです。

ご入学おめでとうございます



平成28年4月9日（土）、桜の花が舞う中、83名の新入生を迎え平成28年度入学式を執り行いました。

清水新学校長から、「今日からあなたの人生で一番過酷な、しかし、これ以上ない極上の旅と一緒に掛りよう」と力強いエールが贈られました。その後、姫路市医師会 空地頭一会長からは、ブータン国王の話に準え、「龍とは人格あり誰の中にも住んでいる。これからの3年間の経験を糧とし、自分の中に住む龍を健全にそして力強く育ててもらいたい。そして全員が一人もかけることなく立派な看護師になってくれることを願っている」との言葉をいただきました。また、来賓の皆様も多数ご列席いただき、ご代表として、姫路市 甲良健康福祉局長や姫路聖マリア病院 山中看護部長からも暖かい言葉を頂戴しました。ご来賓の皆様ありがとうございました。

また、在校生からは、「幾度となく自分自身と向き合う中で自信を無くし、躓くこともあるかもしれませんが。そんな時はどうか自分を信じ、先生方や友人を信じ、立ち上がってみてください。躓いたからこそ見えるものがあり、気づくことがあります。そこにはひとつ成長した自分がいると思います。」とメッセージが贈られました。

最後に卒業式でピアノ演奏をいただいた今村さんの「さくら」の演奏の中、本校教員並びに同窓会代表の網谷友里さんから新入生に花束の贈呈が行われ、網谷さんからは「つらい時や悩んだ時はその時は同じ目標を持っている仲間と支え励ましあいながら頑張ってください」と後輩へ向けたお祝いの言葉が添えられました。



新しい門出を祝して

平成28年3月5日（土）に平成27年度卒業式を執り行いました。卒業生72名が大きな希望を胸に本校を巣立っていきました。

卒業式では、呉本学校長から「本校の教育のモットーである人間を学ぶ、志を学ぶという理念を忘れず心の涵養に努めてください」というお言葉をいただき、また、姫路市医師会 空地会長からは、往年の大女優、オードリー・ヘプバーンの言葉を引用され「美しい唇をもつためには、優しい言葉を話しなさい。美しい瞳を持つためには、人の良いところを探しなさい。心のバランスを保つためには決して一人じゃないということを感じなさい。何人も見捨ててはいけません。助けが必要な時、自分の腕の先にそれがあることを忘れてはいけません。成長してあなたには2つの手があることに気づくでしょう。一つは自分自身を助ける手、そしてもう一つは他人を助ける手。どうか病める人にやさしく寄り添い、真心のこもった仕事をする看護師になってください」という言葉を卒業生に贈られました。卒業生一同、厳しく、しかし、希望に満ちた未来に向け、大きく力強く進んでいく決心を固めた、凛とした素敵な表情になっていました。みんなガンバレ!!



国家試験受験結果

第105回看護師国家試験の合格率は89.4%と昨年よりも0.6ポイント低下しました（新卒のみは94.4%）。本校の合格率は表の通り第100回以来の全員合格という結果を導き出すことができ教職員・学生に大きな力を得ることができました。第105回では、必修問題に関しては従来のレベルでした。しかし一般問題・状況設定問題においては、「人体の構造と疾病がわからないと問題は解けない。ただ単に暗記しただけの学習では、合格しにくく、より応用の幅を持った学習ができていないと解けない」問題が多くありました。さらに状況設定問題は、全ての看護領域からまんべんなく出題されていました。状況を丁寧に読み、キーワードを抑え段階を捉えられればそう難なく解答できる問題でした。しかし、実習で曖昧な知識のまま実習をクリアしていたとしたら応用力と適切な判断力を問われる問題に対しては、難問となったことが推測されます。

第106回も100%の合格に向けて学生と共に努力していきます。

副学校長 白井 澄子

看護師国家試験受験結果

	看護学科(第1看護学科)				第2看護学科				全国平均(合格率)
	受験者	合格者	不合格者	合格率	受験者	合格者	不合格者	合格率	
第101回(平成23年度)	42	40	2	95.2%	39	38	1	97.4%	90.1%
第102回(平成24年度)	75	74	1	98.7%					88.8%
第103回(平成25年度)	80	77	3	96.3%					89.8%
第104回(平成26年度)	68	67	1	98.5%					90.0%
第105回(平成27年度)	72	72	0	100.0%					89.4%

看護師生涯教育研修会の第7・8回開催報告と平成28年度開催のご案内

平成27年度の看護師生涯教育研修会を8月22日(土)と2月27日(土)にいずれも姫路市医師会館にて開催しました。テーマは「クレーム対応」です。

第7回(8/22)では「プロに聞く対応術「苦情の理解から対応の常識」」をテーマに森脇法律事務所 所長 森脇 正弁護士の講演をいただきました。弁護士の先生ならではの現実に即した対応術をQ&A方式でわかりやすくご講演いただきました。参加者からは、「楽しく受講できた」、「看護記録の表現法が法的に役立つことを知り、もう少し文章表現の勉強をしないといけないと感じた」等の感想をいただきました。第8回(2/27)では「クレームの対応一聴く・話す・記録する技術」と題し、兵庫県臨床心理士会 会長の羽下大信様の講演の後、市内基幹病院の3名の看護師の方々によるシンポジウムを実施いただきました。「羽下先生を中心にそれぞれの立場から事例を通して分かり易くお話し理解につながった」、「現在の医療機関で出来ていないことが多かったので参考にしていきたい」等の感想をいただきました。

両日共に気候の厳しい中、約150名の皆さんにご参加いただきました。皆様ありがとうございました。



平成28年度の看護師生涯教育研修会は第9回を8月6日(土)に第10回を2月25日(土)にいずれも姫路市医師会館において開催する予定です。内容は近年何かと話題の「地域包括ケア」を取り上げてみたいと考えています。内容が決まり次第ホームページ等でご案内いたします。

卒業生のみならず、各医療機関の看護師の皆様、知り合いの看護師の方を誘って、ぜひこの研修会にご参加ください。

そして、今後の研修会希望内容等のアンケートを随時行なっていますので、ぜひ皆さんのご意見・ご希望を記入いただき、この研修会をよりよいものとしていきたいと考えています。ご協力よろしくお祈りします

看護力アップセミナー 平成27年度開催報告と平成28年度開催のご案内

平成27年度の新たな取り組みとして看護力アップセミナーを開催しました。「研修会と何が違うの?」と思われる方もいらっしゃると思いますが、本校では研修会から対象者の幅を一步広げ、「将来市内の医療機関で働いてみたいんだけど、少し現場から離れてしまって、復職に不安を感じる」と思っている休職中の看護師の方(潜在看護師)も対象としたセミナーです。

3日間のセミナーを1期とし、全3期のセミナーを行いました。7月に第1期、10月に第2期、1月に第3期を開催いたしました。参加者は1回あたり20名程度で少数での実践型のセミナーとなっています。第1期は脳神経系フィジカルアセスメント、第2期は消化器系フィジカルアセスメント、第3期は運動器系フィジカルアセスメントを中心に実施いたしました。参加者からは、「実践的なセミナーで良かった」「現場の事例とともに説明があり具体的でわかりやすかった」「実際に体を動かしながら楽しく学べた」との感想をいただき、非常に好評でした。

平成28年度も同様にセミナーを開催します。本年度は新たに最終日に姫路メディカルシミュレーションセンターひめマリアでのセミナーを予定しております。既に第1期目のセミナーは「患者急変時の看護技術」とし、6月25日(土)からスタートしており、今後、第2期を9月に第3期を2月に予定しております。

興味のある方、また復職を考える知り合いの看護師の方等に紹介していただき、参加していただけたらと考えています。詳細が決まりましたら本校ホームページ等でご案内いたします。



新たな学校パンフレットが完成しました

姫路市医師会看護専門学校



The Himeji
Medical Association
School of Nursing



今からハジメよう。
ガンバル君が夢を叶える
サポートタイセイがあり
幅ヒロク学ぶ事のできる
ユタカなキャンパス。
キボウの翼を得る為の
イキイキとした時間。

人間を学ぶ。
志を学ぶ。
私たちの目指す看護。
それはケアリングの実践です。



今年度、新たな学校パンフレットが完成しました。
卒業生の方にもご協力いただきました。素敵な写真に仕上がっていますよ。
ご協力ありがとうございました。

編集後記

みなさんいかがお過ごしでしょうか
長年この「HIMEKAN」の編集を担当していただいた前任者から、今回より編集を引き継ぎました。何かと不慣れな中、たくさんの方のご協力により、何とか発刊までこぎつけることができました。
前任者のように、きめ細やかな記事を提供できる自信はございませんが、精一杯、みなさんに伝わるよう頑張っていきますので、よろしくお願ひします。
また、本校では、引き続き、卒業生をはじめとする看護師の方々を対象に、看護師生涯教育研修会や看護力アップセミナー等を開催しております。是非、ご参加ください。また、行事以外でも学校にお立ち寄りいただき、いろいろなお話をお聞かせください。
これからも、みなさんのあたたかいご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願ひいたします。

平成28年7月

掲載記事募集

この「HIMEKAN」に掲載する記事を募集しています。
卒業生のみなさんにお知らせしたいこと、伝えたいこと、
がんばっていること等なんでもかまいません。
様式は問いません。掲載内容と名前、住所、連絡先を記入
して、学校まで送付してください。
もちろん、持ち込みもOKです。



●●発行元●●

姫路市医師会看護専門学校
学校事務課

〒670-0074

姫路市御立西五丁目6番22号

Tel 079-298-1241(代)

Fax 079-298-6876